

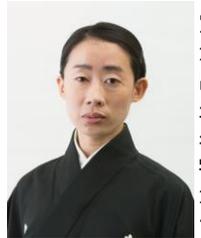
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> 企業・団体・サークル等で、文化・芸術に触れる機会を探している方。 勉強会などで、古典芸能に興味をお持ちの方。 俳句・茶道・舞踊などのお稽古ごとのお仲間。 武道などを通じて、日本古来の「型」や「所作」に興味をお持ちの方。 体の鍛錬や癒やしとして能に関心がある方。
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ライブハウスのように、謡や仕舞の迫力を間近で感じる。 昔は庶民が親しんだ能の物語の、情景を説明し、謡い舞うことで想像力を豊かにする。 豪華ランチほどの値段と時間で、迫力と格式を兼ね備えた芸能に触れる。 会場は、6m四方ほどの舞うスペースと観客席。
狙い・目的	<ul style="list-style-type: none"> 出張公演で、格式に則った謡と仕舞を、全国何処へでも届ける。 出演はシテ方2名。1舞台（1時間前後）を10万円程度の予算で中身が濃い能楽鑑賞を提供。 広間でも可。但し、演者の足元が見える席配置が肝要。（武道に通じる足捌きを間近で） 若手シテ方の舞台を増やし、研鑽を助ける。
目標	<ul style="list-style-type: none"> これまでの実績（富士宮市14回、都留市4回）を全国へ展開し、定期開催として定着させる。 依頼内容に合わせて、約200曲から演目を選び、トークを組み立てる独自プロデュースを強化。 能楽との接点が殆どなかった方をファンにし、600年継承されてきた能のサポーターを増やす。

開催概要

- **構成**：公演のテーマを決め、テーマに沿う演目を約200曲から選び、物語・詞章・所作のトークを組み立て、謡い、舞う。
- **キャッチコピー**：「能を楽しむ・・・日本人を楽しむ」
「物語を知り、謡を楽しむ。物語の情景を思い浮かべ、仕舞を楽しむ」
- **出演者**：公益社団法人 能楽協会 会員 シテ方 宝生流



田崎 甫
はじめ



葛野 りさ
かどの

宝生流職分
1988年神奈川県生まれ。宝生流能楽師田崎隆三の甥。2011年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、20代宗家宝生和英の内弟子となり2018年独立。2019年4月より東京藝術大学音楽学部教育研究助手。

宝生流職分
1989年富山県富山市生まれ。20代宗家宝生和英に師事。2011年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。2017年「田村」で初シテ。2020年より川村学園女子大学非常勤講師。

- **実施例**：富士宮市「臥牛サロン」



- ・ サロン形式で14回実施済
- ・ 奇数月の下旬開催
- ・ 民家内の能稽古舞台にて（見所30席，参加料 3000円）
- ・ サンプル動画（9分）
スマートフォンで→
または、PCで
[検索語] 甫 能一歩

<https://noh-ippo.jp>





物語を知り、能を楽しむ

演者が物語の情景を話し、その場面の謡や仕舞を演じます。

能面や装束を着けず、紋付き袴で能の伝統に基づいて演じます。



詞章の説明を聞き、謡を楽しむ

型の説明を聞き、仕舞を楽しむ

目の前で演じられる「謡の息遣い」、「舞の迫力」を、ライブハウスのように身体で感じて頂けます。

【田崎甫による、独自のプロデュース】

- 主催者の目的に合わせて、公演のテーマをすり合わせます。
- テーマに沿って、田崎甫が独自に番組を創ります。

<番組の基本構成>

まとめ	仕舞④	トーク④	仕舞③	トーク③	仕舞②	トーク②	仕舞①	トーク①	ご挨拶・独吟
-----	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	--------

舞台は木>畳>樹脂、座席は“演者の足下が見える配置”に

